

令和4年度

大分県ドローン協議会

定時総会議案書



令和4年6月29日

目 次

I 議決事項

1 第1号議案

令和3年度事業報告及び収支決算について-----1

2 第2号議案

大分県ドローン協議会規約の一部改正について(案)----- 14

3 第3号議案

役員の選任について(案)-----15

4 第4号議案

令和4年度事業計画及び収支予算について(案)-----16

II 報告事項

1 企画委員会の委員の委嘱について----- 19

事 業 報 告

1. 定 時 総 会 (書 面 決 議)

大分県ドローン協議会の定時総会は、新型コロナウイルス感染の拡大防止の観点から書面決議によって諮ることとした。

協議会規約第 13 条の規定を準用し、会員の過半数の書面表決書提出によって成立したとみなし、議案の可決については、書面表決書提出会員の賛成過半数をもって決するものとした。議事録署名人は、議長が役員の中から 2 名を指名した。

また、総会開催時のセミナーに代えて、オンラインセミナーを開催した。

(1) 日 程

令和 3 年 6 月 10 日、書面決議に関する文書（議案書、表決書等）の発送

令和 3 年 6 月 25 日、事務局への必着

(2) 議 事

① 第 1 号 議 案 : 令 和 2 年 度 事 業 報 告 及 び 収 支 決 算 に つ い て

② 第 2 号 議 案 : 令 和 3 年 度 事 業 計 画 及 び 収 支 予 算 に つ い て (案)

(3) 報 告 事 項

① 企画委員会委員の退任について

② 大分県ドローン協議会分科会設置規程及び大分県ドローン協議会分科会助成金交付要綱の制定について

(4) 定 足 数 に つ い て

会員数： 187 会員（令和 3 年 6 月 28 日時点）

書面表決書提出会員数： 168

※) 会員の過半数の書面表決書の提出により、協議会規約第 13 条第 1 項の規定を準用し、定時総会が成立したとみなした

(5) 議 案 の 表 決

協議会規約第 13 条第 2 項の規定を準用し、すべての議案について書面表決書提出の 168 会員中、いずれも過半数の賛成をもって原案のとおり決したとみなした。

(6) オ ン ラ イ ン セ ミ ナ ー の 開 催

集合形式での総会における基調講演等に代えて、オンライン形式で「ドローン産業振興セミナー」を開催した。

・ 日時：令和 3 年 6 月 18 日（金） 13:00～15:50

・ 場所：オンライン（Zoom 配信）

・ 参加者数：延べ 104 名（当日参加 68 名、後日配信視聴 18 名）

・内容：

- ①御挨拶 大分県ドローン協議会 会長 石井 四郎
- ②基調講演「人とドローンが共生する未来社会の実現にむけて」
日本無人機運行管理コンソーシアム 事務局長 秋本 修 氏
(福島ロボットテストフィールド副所長、東京大学スカイフロンティア社会連携講座
シニアリサーチフェロー)
- ③県内企業によるドローン活用プロジェクト
 - ・おおいたドローンビジネスプラットフォーム事業（株式会社ネオマルス）
 - ・ドローン講習オンライン実技テストシステム（DROTS）の開発について
(株式会社オーイーシー)
 - ・ドローンを活用した設備管理強化への取組み状況（昭和電工株式会社）
- ④ドローン協議会の事業報告及び事業計画等について

2. 企画委員会の開催

令和3年度の事業進捗及び令和4年度の暫定事業計画及び収支予算等について、新型コロナウイルスの国内外の感染拡大の影響を考慮し、集合形式、およびオンライン参加の併用により、企画委員会を開催した。

日程	議事
令和3年4月14日 9:00～10:00	①令和2年度：事業報告・決算報告について ②令和3年度：事業計画案・予算案について ③分科会の取組みについて
令和4年3月24日 10:00～11:00	①令和3年度事業報告・決算報告について ②令和4年度事業計画及び収支予算について（案） ③その他

3. 事業

(1)人材育成事業

新型コロナウイルスの感染防止のため、オンライン形式でセミナーを開催した。ドローンの活用事例や関連技術等の紹介を目的として、物流や災害・防災、インフラ点検など、計14テーマについて会員限定で配信した。

配信開始	テーマ、概要	受講者
令和4年2月7日	テーマ：鳥獣害対策 講演①：鳥獣害分野のドローン活用について 講師：株式会社T&T ドローン事業部 リーダー 中田 耀介 氏	35名



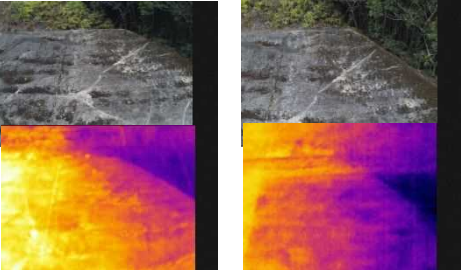
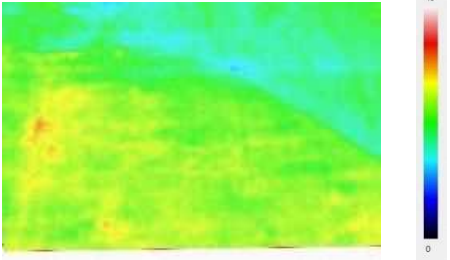
	<p>講演②：南小国町のドローンとシステムを活用した鳥獣害対策について</p> <p>講師：熊本県南小国町 まちづくり課 企画商工観光係 主査 高藤 郁弥 氏</p>	
令和4年2月8日	<p>テーマ：モビリティ</p> <p>講演：ドローンの産業振興に向けた取組</p> <p>講師：経済産業省 製造産業局 次世代空モビリティ政策室 室長 宇田 香織 氏</p>	28名
令和4年2月8日	<p>テーマ：観光・イベント・スポーツ</p> <p>講演：観光・イベント分野におけるドローンショーの活用について</p> <p>講師：株式会社ドローンショー 代表取締役 山本 雄貴 氏</p>	25名
令和4年2月15日	<p>テーマ：測量</p> <p>講演：測量におけるドローン関連技術と活用事例</p> <p>講師：do 株式会社 代表取締役社長 高原 正嗣 氏</p>	36名
令和4年2月15日	<p>テーマ：農業</p> <p>講演：農業分野におけるドローン活用の現状とその可能性</p> <p>講師：do 株式会社 代表取締役社長 高原 正嗣 氏</p>	23名
令和4年2月15日	<p>テーマ：点検</p> <p>講演：ドローンを活用した点検分野の現状とその可能性</p> <p>講師：do 株式会社 代表取締役社長 高原 正嗣 氏</p>	34名
令和4年2月21日	<p>テーマ：救急・医療</p> <p>講演①：救急・災害医療分野のドローン活用</p> <p>講師：岐阜大学 医学部附属病院 高次救命治療センター 医師 名知 祥 氏</p> <p>講演②：モバイルファーマシーへの医薬品供給におけるドローン活用の可能性</p> <p>講師：岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室 教授 林 秀樹 氏</p>	19名
令和4年2月21日	<p>テーマ：災害・防災</p> <p>講演：「災害・防災分野でのドローンの活用」 Hec-Eye（ヘックアイ）で情報収集と共有をさらに効率化！</p> <p>講師：株式会社リアルグローブ 笠門 浩一郎 氏</p>	25名
令和4年2月22日	<p>テーマ：最新機体</p> <p>講演：ACSLの産業用ドローンの活用事例</p>	22名



	講師：株式会社 ACSL 事業開発本部長 六門 直哉 氏	
令和4年2月22日	テーマ：国の動向 講演：ドローンの技術政策に向けた国土交通省の取り組み 講師：国土交通省 総合政策局 技術政策課 課長 伊藤 真澄 氏	28名
令和4年2月24日	テーマ：インフラ点検 講演：ドローン「インフラ点検／DX」最前線 講師：ブルーイノベーション株式会社 代表取締役社長 執行役員 CEO 熊田 貴之 氏	22名
令和4年2月24日	テーマ：ライセンス・スクール・機体登録 講演：ドローン「レベル4飛行」に向けた制度と技術 講師：一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会 理事長 鈴木 真二 氏	29名
令和4年2月25日	テーマ：警備・監視 講演：スマート港湾の取り組みとAI解析 情報共有システムの活用について 講師：株式会社エアーズ 事業企画部 インストラクター 細井 智也 氏	16名
令和4年2月25日	テーマ：物流 講演：2022年度レベル4解禁、ドローン物流の最新動向 講師：ブルーイノベーション株式会社 代表取締役社長 執行役員 CEO 熊田 貴之 氏	22名

(2)技術・製品開発支援事業



ドローン関連産業の育成を図るため、ドローンの機体や周辺機器、ドローンを用いた新たなソフトウェアやサービス等の研究開発に係る経費の一部を補助した。製品開発およびソフト・サービス開発に関する9件の申請を受理し、審査を通じて3件に補助金を交付した。また、ドローンによる産業上の課題解決または地域振興につながるドローンの活用事例創出のための実証実験を支援し、ドローンの社会実装を促進するための経費の一部を補助した。計5件の申請を受理し、審査を通じて4件に補助金を交付した。

①研究開発： 補助額 500 万円以内、補助率 2/3 以内

テーマ名 (補助金精算額)	実施企業 開発品	成果概要
<p>水上自動走行能力を備えた導水路内部点検用 USV 型ドローンの開発 (5,000 千円)</p>	<p>九州電力株式会社 APEX JAPAN 株式会社</p>  <p>開発した機体</p> <p>機体からの撮影画像</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 導水路内部点検における作業員の身体的負担軽減及び点検に伴う発電所停止期間の短縮を目的に、水流のある中で水路のひび割れ等の状況確認ができる USV を開発。 水流や導水路の拡幅・縮小、曲がりのある中で、導水路の中央を通り、画像でひび割れ等を確認できる機体の開発を実現。
<p>ドローンで撮影した赤外線熱画像の二時刻温度差解析ソフトの開発 (4,942 千円)</p>	<p>株式会社テクノコンサルタント</p>  <p>二時刻での法面撮影 (左：高温時、右：低温時)</p>  <p>二時刻の温度差画像 (オレンジ色の個所に浮きの可能性有)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 法面点検の負担軽減及び効率化を図るため、ドローンで撮影した同位置二時刻での画像ずれ(※)の補正を目的に、ソフトウェアを開発。※プログラミング飛行により同位置で撮影しても風の影響等で微妙なずれが生じる。 二時刻の画像ずれを調整するソフトウェアを開発し、二時刻温度差画像を生成することで、法面点検の効率化を実現。

<p>ドローンに搭載した赤外線カメラによる、工場内点検システムの構築 (4,874 千円)</p>	<p>柳井電機工業株式会社</p>  <p>ソフトウェアによる異常部診断</p>  <p>水上ドローンの試作機</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工場内点検の負担軽減及び効率化を図ることを目的に、蒸気配管検査ソフトウェア及び水上ドローン（水中ドローン搭載）を開発。 工場内の蒸気配管検査に好適なソフトウェアの開発を実現。 水上ドローンについては、試作機を開発し、引き続き実用化に向けた開発を実施。
---	--	---

②社会実装促進： 補助額 150 万円以内、補助率 1/2 以内

テーマ名 (補助金精算額)	実施企業 開発品	成果概要
<p>ドローンを活用した麦作における省力化及び低コスト化技術の検証 (1,500 千円)</p>	<p>株式会社ゆふ農業サポート</p>  <p>播種作業</p>  <p>ドローン播種による生育状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 麦作の効率化・収益向上を図るため、ドローンによる播種及び追肥の実用可能性を検証。 従来の農法による麦作（対照区）と比較し、実証区では播種深度が深くなり、出芽がやや遅れたものの、播種後の耕起を改善することで対照区と同等程度の出芽数が見込まれるとともに、10ha あたり 33 時間程度の労働時間削減に貢献。

<p>濁水中での水中ドローンの活用促進 (1,500 千円)</p>	<p>株式会社テクノコンサルタント</p>  <p>水中ドローンとソナー</p> <p>実映像とソナー映像の比較</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・水中ドローンによる濁水中での物体確認を目的に、マルチビームイメージングソナーの活用可能性を検証。 ・カメラでは 20cm 程度の視程しか得られない濁水中でも、離れた位置から物体の形状を把握できることが確認でき、活用範囲の飛躍的拡大を実現。
<p>屋外文化財を後世に。測量ドローンを用いた記録保存への取り組み (431 千円)</p>	<p>株式会社文化財保存活用研究所</p>  <p>熊野磨崖仏の測量</p> <p>3Dデータ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害における史跡の復旧等での活用を目的に、災害前の史跡に対して、測量ドローンを用いた効率的な測量の実証実験を実施。 ・ドローンを用いた写真測量及び記録保存用 3Dモデル化を実現するとともに、大幅な作業負担の軽減が図られた。
<p>ドローンを用いた境界調査 (1,187 千円)</p>	<p>薩摩陽平土地家屋調査士事務所</p>  <p>オルソ画像と地積測量図等の比較</p> <p>境界確認資料等の 3D データ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで費用対効果等で困難だった広大地や急斜面などの境界調査を可能にし、土地利用を円滑にすることを目的に、ドローンによる効率的な測量を検証。 ・ドローン空撮を通じてオルソ画像及び 3次元点群を作成することで広大地所有者の測量可能箇所の拡大や様々な事情で現地立会できない場合の境界確認資料の作成を実現。

(3)情報提供と連携事業

①電子カタログ制作

協議会会員の販路開拓やビジネスマッチング等に寄与することを目的として、令和2年度に61社・団体の情報を掲載した電子カタログを制作し、協議会ホームページで公開した。令和3年度は、掲載内容にドローン関連の周辺装置やソフトウェアを追加し、38社・団体の情報を掲載した。

掲載企業等	38(社・団体)
掲載内容	<p>①基礎情報 企業・団体等の名称、URL、連絡先(メール、電話)</p> <p>②ドローン関連情報 現在のドローン事業、自社用途、所有ドローン(機種、台数、タイプ:上空・陸上・水上・水中)、周辺装置(レーザスキャナ、赤外線カメラ等)、ソフトウェア(診断、解析等)、オペレータ(人数、ライセンス等)</p> <p>③自社PR</p>

②実証実験等の紹介動画の制作および公開

ドローンによる産業上の課題解決、地域振興につながる事例や新たなビジネスの創出等を目的とし、活用の概要や効果などを分かりやすく情報発信するために、ドローン活用事例の動画を制作および公開した。令和3年度の実施事業は、協議会の社会実装促進事業の採択テーマのうち2件及び大分県における物流実証プロジェクト4件について動画を制作した。今後、ホームページでの公開を予定している。

令和3年度 大分県ドローン協議会 社会実装促進事業

実施主体	テーマ	概要
株式会社ゆふ農業サポート	ドローンを活用した麦作における省力化及び低コスト化技術の検証	麦作におけるドローンを活用した播種・追肥による省力化・低コスト化の検証に関する実証実験
株式会社文化財保存活用研究所	屋外文化財を後世に。測量ドローンを用いた記録保存への取り組み	屋外の文化財の記録保存を目的とし、ドローンと測量技術を融合した機材を用いた文化財保護や活用に関する実証実験

令和3年度 大分県ドローン物流社会実装プロジェクト

実施主体	テーマ	概要
株式会社ゼンリン	遠隔診療×ドローン物流実証事業	佐伯市大島及び鶴見半島での遠隔診療や、ドローンによる医薬品の配送に関する実証実験
ciRobotics 株式会社	離島・過疎地物流×ドローン物流実証事業	津久見市無垢島での生活利便性向上を目指し、ドローンによる買い物・医薬品の配送に関する実証実験
ciRobotics 株式会社	救援物資配送×ドローン物流実証事業	令和2年7月豪雨で孤立を経験した日田市中津江村における、ドローンによる救援物資の配送に関する実証実験
大分県農業農村振興公社	大分農業文化公園での物流実証事業	大分農業文化公園で新たに実施する冬キャンプに併せて、ドローンでBBQ用お肉の配送に関する実証実験

③情報提供

ホームページや会員向けのメール便を通じて、協議会が主催するセミナーや補助事業、協議会会員の取組などについて情報発信した。

- ・ホームページ： 事業概要、セミナーの案内・受付、補助事業の案内・受付、会員一覧、会員の取組紹介（電子カタログ、動画）、入会受付、問合せ、など
- ・会員向メール便： セミナーの開催、補助事業の公募、協議会会員の取組紹介、ドローン関連情報の紹介、大分県からのお知らせ、など

(4)コーディネーター事業

コーディネーターを協議会に配置し、研究開発事業に関する課題への指導や助言を実施した。また、会員企業の技術連携などを支援した。

氏名	活動内容
池田 喜一 氏 (元産業技術総合研究所 研究員)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発の進捗状況管理 ・研究課題への指導・助言 ・会員企業の技術連携など

(5)分科会の開催

協議会の会員数は200社・団体を超過しており、令和元年度よりアンケートや意見交換会などを通じて会員の取り組みや課題、要望などを収集し、令和3年度に活動目的を明確にした2つの分科会を設立した。

①測量・点検・調査分科会

目的：測量・点検・調査分野へのドローン活用に関して会員が連携して事例研究、課題の抽出、研究開発、研究成果の発表（実証実験や展示会展展など）及び討議することで、技術レベルの向上及び活用促進を図る。

分科会長：株式会社テクノコンサルタント 会長 伊東 修 氏

分科会会員：17事業者

日程	概要	参加者
令和3年4月9日	実証試験（法面調査・測量）	16名
令和3年4月23日	実証試験（トンネル点検）	40名
令和3年6月3日	講演会（大分県測量設計コンサルタンツ協会）	51名
令和3年6月25日	見学会（橋梁点検：下部工）	50名
令和3年7月30日	見学会（水中・管路・水上調査）	78名
令和3年11月2日	講演会（大分県建設技術センター） インフラ点検・調査（橋梁）の現状と未来	70名
令和3年11月12日	講演会（大分県建設技術センター） 法面の点検・調査の新技术の紹介	70名
令和3年11月16日	大分工業高校生徒に対して、出前講座、操縦体験、展示を実施	14名
令和3年11月19日	佐伯豊南高校生徒に対して、出前講座、操縦体験、展示を実施	15名
令和3年12月3日	見学会（橋梁点検）	38名

※その他、8月に講演会、2月に展示会を予定していたが、新型コロナウイルス感染の拡大防止の観点から延期

②観光・教育・エンタメ分科会

目的：観光・教育・エンタメなどの分野へのドローン活用に関して会員が連携して事例研究、課題の抽出、研究開発、研究成果の発表（イベント開催など）及び討議することで、技術レベルの向上及び活用促進を図る。また、子どもの科学技術への興味・関心を育むとともに、地域振興への展開やドローンの普及啓発を図る。

分科会長：株式会社オーイーシー 執行役員 DX推進事業部 事業部長
野崎 浩司 氏

分科会会員：9 事業者

日程	概要	参加者
令和 3 年 5 月 7 日	今後の活動内容について意見交換など	15 名
令和 3 年 6 月 22 日	ドローンサッカーの概要説明・普及に向けた意見交換・体験会	16 名
令和 3 年 10 月 19 日	活動計画案の概要説明、意見交換	10 名
令和 4 年 1 月 8、9 日	農業文化公園においてイベントを実施。 (ドローンサッカー、トイドローン及び水中ドローンの操縦体験会、機体の展示会、デモフライト、FPV ドローンデモ、空撮ドローン映像の VR 体験会、ドローン講話)	延べ 2,839 名 (農業文化公園来場者数)

(6)アドバイザーからの助言等

ドローン産業の各種分野に詳しい専門家 3 名を、協議会のアドバイザーとして登録した。ビジネス面や企業コーディネート、技術動向などの助言をいただいた。

氏名	分野	実績
坂本 義親 氏 (株式会社 ORSO 代表取締役 CEO)	ドローン産業におけるビジネス戦略分野についての指導等	人材育成セミナーにかかる講師コーディネイト、会員企業のビジネス展開への助言等
澤田 雅之 氏 (澤田雅之技術士事務所 代表)	警備などアンチドローンに関する技術分野についての指導等	ドローンに関する技術動向や政策動向・法規制などについての情報提供等・助言等
戸澤 洋二 氏 (戸澤洋二技術士事務所 代表)	ドローンの制御や通信に関する無線技術分野についての指導等	無線関連機器、特に映像伝送装置や運用調整システムについての情報提供・助言等

4. その他の取り組み

(1)ドローンビジネスプラットフォーマー事業への支援

県が令和 2 年度から実施しているドローンビジネスプラットフォーマー支援事業について、プラットフォーマー事業者（(株)ネオマルス、(株)テクノコンサルタント、九州電力(株)大分支社、(株)ザイナス）と連携し、活動計画に対する意見交換やプラットフォーム（Web サイト）に掲載するドローンサービスの開発活動等に協力・支援を行った。

令和3年度収支決算

自：令和3年4月1日 至：令和4年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備考
会費	1,800,000	1,850,000	50,000	年会費10,000円×185社
負担金	24,639,024	23,141,789	△ 1,497,235	大分県負担金
繰越金	2,987,782	2,987,782	0	
その他	0	104	104	預金利息
計	29,426,806	27,979,675	△ 1,447,131	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	不用額	備考
人材育成事業費	2,200,000	1,595,000	605,000	
報償費	250,000	0	250,000	講師謝金
旅費	320,000	0	320,000	講師旅費
委託料	1,600,000	1,595,000	5,000	Webセミナー企画開催(14テーマ)
使用料及び賃借料	30,000	0	30,000	会場使用料
技術・製品開発支援事業費	19,538,400	19,507,000	31,400	
報償費	36,000	73,000	△ 37,000	審査委員謝金
旅費	2,400	0	2,400	審査委員旅費
補助金	19,500,000	19,434,000	66,000	①製品開発:3件, ②社会実装促進:4件
情報提供と連携事業費	1,805,000	1,573,000	232,000	
旅費	150,000	0	150,000	学会等旅費
委託料	1,600,000	1,573,000	27,000	動画制作(社会実装促進、実証試験)
負担金	55,000	0	55,000	学会等参加費
コーディネーター事業費	1,016,000	810,650	205,350	
報償費	720,000	720,000	0	コーディネーター謝金
旅費	296,000	90,650	205,350	コーディネーター旅費、通勤費
分科会活動費	3,000,000	2,454,789	545,211	
助成金	3,000,000	2,454,789	545,211	①測量・点検・調査、②観光・教育・エンタメ
総会等開催費	1,080,000	50,000	1,030,000	書面決議
報償費	180,000	50,000	130,000	講師謝金
旅費	200,000	0	200,000	講師旅費
食糧費	300,000	0	300,000	交流会費
印刷消耗品費	100,000	0	100,000	資料印刷費等
使用料及び賃借料	300,000	0	300,000	講演会会場費
事務局経費	787,406	410,389	377,017	
旅費	218,000	1,375	216,625	監事旅費
食糧費	20,000	220	19,780	お茶代
印刷消耗品費	200,000	66,020	133,980	消耗品、事務用品費
役務費	214,166	189,691	24,475	通信費、振込手数料
使用料及び賃借料	135,240	152,083	△ 16,843	PCリース料
公課費	0	1,000	△ 1,000	収入印紙
支出計	29,426,806	26,400,828	3,025,978	
繰越金		1,578,847		
合計		27,979,675		

令和3年度会計監査報告

大分県ドローン協議会規約第5条第3項の規定に基づき、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の本協議会の会計を監査した結果、諸帳簿、預金、関係証拠書類等について、いずれも適正に処理及び保管されていることを確認したので報告する。

令和4年5月17日


大分県ドローン協議会

監事

藤邊 剛之 

大分県ドローン協議会

監事

平岩 禎一郎 

第 2 号 議 案

大分県ドローン協議会規約の一部改正について(案)

規約の改正について、大分県ドローン協議会規約第 12 条第 3 号の規定により、下記のとおり議決を求める。

<改正案>

大分県ドローン協議会規約の一部を次のように改正する。

- 1 第 22 条第 1 項中、「大分県産業科学技術センター」を「大分県商工観光労働部新産業振興室」に改める。
- 2 附 則
この規約は、令和 4 年 6 月 29 日から施行する。

(参考)

<改正の内容>

【現 行】

(事務局)

第 2 2 条 協議会の事務局は、大分県産業科学技術センターに置く。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

【改正案】

(事務局)

第 2 2 条 協議会の事務局は、大分県商工観光労働部新産業振興室に置く。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

<改正の理由>

ドローン産業について、サービス分野の成長が期待されていることや、改正航空法の公布などを契機に、協議会においては今まで以上に国や関係機関等との連携した取組や最新情報の共有、県内企業への分野別のきめ細かな支援、県内自治体や各地域との連携、ドローンビジネスプラットフォーマーとの連携が必要となる。

このため、協議会の事務局を研究開発支援を主とする大分県産業科学技術センターから、県のドローン産業振興の主務課である大分県商工観光労働部新産業振興室に移管し、よりドローン産業の育成に資する取組を推進していく。

なお、移管後も技術開発や企業支援などにおいては産業科学技術センターと連携し、協議会の活性化とドローン産業の振興を図るものとする。

第3号議案

役員を選任について(案)

任期満了に伴う役員を選任について、大分県ドローン協議会規約第4条第2項の規定により、議決を求める。

大分県ドローン協議会役員名簿

任期：令和6年度定時総会まで

役職名	氏名	所属・職名	
会長	石井 四郎	株式会社デンケン 代表取締役会長	再任
副会長 (3人)	村井 雄司	FIG 株式会社 代表取締役社長	再任
	甲斐 武彦	株式会社ネオマルス 代表取締役	新任
	小谷 公人	大分県産業科学技術センター センター長	再任
監事 (2人)	渡邊 剛之	大分ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長	再任
	平岩 禎一郎	株式会社佐伯コミュニケーションズ 代表取締役会長	再任

※参考：大分県ドローン協議会規約（抜粋）

第4条 協議会に、次の役員を置く。

- 一 会長 1人
 - 二 副会長 3人
 - 三 監事 2人
- 2 役員は、総会において選任する。ただし、副会長のうち1人は、大分県産業科学技術センター長の職にある者をもって充てる。

事業計画案

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

【事業の柱】

①分科会活動の充実

ドローンに関する技術や活用等について討議研究し、技術レベルの向上および活用促進を図ることを目的として、会員が主体的に取り組む分科会活動を支援する。分科会では、勉強会や研究開発、実証試験、外部への情報発信、他団体との意見交換、外部講師の招聘など、企業主導型の活動を実施する。

②研究開発等の支援

ドローンの機体や周辺機器、ドローンを用いた新たなソフトウェアやサービス等の研究開発を支援する。また、ドローンによる産業上の課題解決や地域振興につながる活用事例を創出するための実証実験の実施及び情報発信を支援する。

③その他の取り組み

専門技術や最新の動向・事例等に関するセミナーを通じ、人材育成や事業の企画・提案力の向上を図る。会員の事業等の紹介やドローン関連団体との連携等によってビジネスマッチングを促進する。プラットフォーム事業など県事業との連動を通じて、関連ビジネスの活性化を図る。大分県産業科学技術センターや他機関と連携し、技術力向上を図る。

1. 総会の開催

定時総会を、令和4年6月29日(水)午後で開催する。

2. 企画委員会の開催

協議会の事業活動や予算について協議する。

3. 活動

事業の柱や会員のニーズ、企画委員会での企画・検討をもとに、以下の事業に取り組む。

(1)分科会活動事業

令和3年度から正式に立ち上げた分科会活動事業について、ドローン関連の実証実験やビジネス展開など、目的を明確にし、会員が主体的に取り組む分科会の活動がより充実できるよう支援する。ドローンを活用したビジネスの現状把握や課題の収集、メンバー間の連携やビジネスマッチングの促進、各種産業に携わる自治体や事業者等の関係者との連携などを通じて、技術の向上やビジネスプラットフォーム事業者との連携、ビジ

ネス展開につなげる。

(2)開発支援事業

ドローンに関するハードウェアやソフトウェア、サービス等の研究開発、ならびに、ドローンによる産業上の課題解決や地域振興につながる活用事例を創出し、社会実装を促進するための実証実験を支援する補助金を公募する。

- ①研究開発支援：ドローンの機体や周辺機器、ソフトウェア、サービス等の開発に対する経費を補助する。補助率 2/3、上限 5,000 千円、3 件程度を採択予定。
- ②社会実装促進支援：実証実験等の実施に要する経費を補助する。補助率 1/2、上限 1,500 千円、3 件程度を採択予定。

(3)人材育成事業

会員や分科会のニーズ、政策動向や市場動向をもとに、陸上・水上・水中・モビリティなど多様化するドローンの状況をふまえ、ビジネス面や技術面など、さまざまなドローン技術・ドローン事業に関する幅広かつ専門的な研修を開催する。

(4)情報発信事業

ドローン活用事例の情報発信やビジネスマッチングなどを図るため、協議会の補助事業に採択されたテーマなどの情報を分かりやすく紹介する動画を制作し、ホームページや動画サイト等へ掲載する。また、ドローンの活用や研究開発などに取り組む団体・機関との連携、県や九州内の広域的なドローン関連事業との連携などを通じて、先端的な技術や最新の動向等の収集、研究開発の促進、ビジネスチャンスの創出や拡大につなげる。その他、ホームページや会員向けのメール便を通じて、協議会が主催するセミナーや補助事業、協議会会員の取組などについて情報発信する。

(5)コーディネーター事業

会員企業における事業の支援や、自社技術の強みを生かす連携、事業力・営業力の向上を目的とした会員間のマッチング等に取り組む。ドローンビジネスプラットフォームと連携しながらドローンに関するニーズ収集や、会員企業等のシーズとの橋渡し、ネットワーク構築のサポートなどを実施する。

令和4年度 収支予算(案)

自: 令和4年4月1日 至: 令和5年3月31日

【収入の部】

(単位: 円)

科 目	令和4年度予算額 (A)	令和3年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
会費	1,800,000	1,800,000	0	年会費10,000円×180社 (見込み)
負担金	28,023,000	24,639,024	3,383,976	大分県負担金
繰越金	1,578,847	2,987,782	△ 1,408,935	
計	31,401,847	29,426,806	1,975,041	

【支出の部】

(単位: 円)

科 目	令和4年度予算額 (A)	令和3年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
人材育成事業費	1,150,000	2,200,000	△ 1,050,000	
報償費	250,000	250,000	0	講師謝金
旅費	300,000	320,000	△ 20,000	講師旅費
委託料	600,000	1,600,000	△ 1,000,000	セミナー企画開催委託費
使用料及び賃借料	0	30,000	△ 30,000	
技術・製品開発支援事業費	19,500,000	19,500,000	0	
補助金	19,500,000	19,500,000	0	①機器等開発: 500万円×3件、②社会実装促進: 150万円×3件
情報提供と連携事業費	1,500,000	1,750,000	△ 250,000	
旅費	0	150,000	△ 150,000	
委託料	1,500,000	1,600,000	△ 100,000	プロモーション動画制作費
コーディネーター事業費	1,056,000	1,016,000	40,000	
報償費	720,000	720,000	0	コーディネーター謝金
旅費	296,000	296,000	0	コーディネーター県内外旅費、通勤費
使用料及び賃借料	40,000		40,000	コーディネーター高速道路使用料
分科会活動費	6,000,000	3,000,000	3,000,000	
助成金	6,000,000	3,000,000	3,000,000	助成金: 200万円×3分科会
総会等開催費	1,140,000	1,080,000	60,000	
報償費	180,000	180,000	0	講師謝金
旅費	200,000	200,000	0	講師旅費
食糧費	300,000	300,000	0	交流会費
印刷消耗品費	100,000	100,000	0	資料印刷費等
使用料及び賃借料	360,000	300,000	60,000	講演会会場費
事務局経費	1,055,847	880,806	175,041	
報償費	80,000	36,000	44,000	審査会委員謝金
旅費	50,000	220,400	△ 170,400	事務局員調査等旅費、審査会委員旅費
食糧費	10,000	20,000	△ 10,000	会議茶代等
需用費	155,847	200,000	△ 44,153	事務用品費等 (印刷費)
役務費	300,000	214,166	85,834	郵便、ビジネスダイレクト、通信費、ワークフロー経費、振込手数料
負担金	319,000	55,000	264,000	会計事務職員負担金、学会・研究会等の参加費
使用料及び賃借料	140,000	135,240	4,760	事務局PCリース料、高速道路料金
公課費	1,000		1,000	収入印紙
計	31,401,847	29,426,806	1,975,041	

II 報告事項

企画委員会の委員の委嘱について

任期満了に伴う企画委員会の委員の選任について、大分県ドローン協議会規約第14条第2項の規定により、委嘱する。

大分県ドローン協議会企画委員名簿

任期：令和5年度定時総会まで

氏名	所属・職名	
室園 昌彦	日本文理大学 工学部長	再任
尾石 上人	FIG株式会社 常務執行役員 モバイルクリエイイト株式会社 執行役員 技術部長	再任
澤田 耕二	柳井電機工業株式会社 コークリエーションデザイン事業部 カスタマーエクスぺリエンスグループ Data Ninja	再任
溝部 弘之	APEX JAPAN株式会社 代表取締役	再任
山本 竜伸	株式会社ザイナス 常務取締役	再任
伊東 修	株式会社テクノコンサルタント 取締役会長	新任
野崎 浩司	株式会社オーイーシー 上席執行役員 DX プロデュース事業部 事業部長	新任